

第 2 回新型コロナウイルス感染症対策に関する調査

2020 年 3 月 9 日

<調査概要>

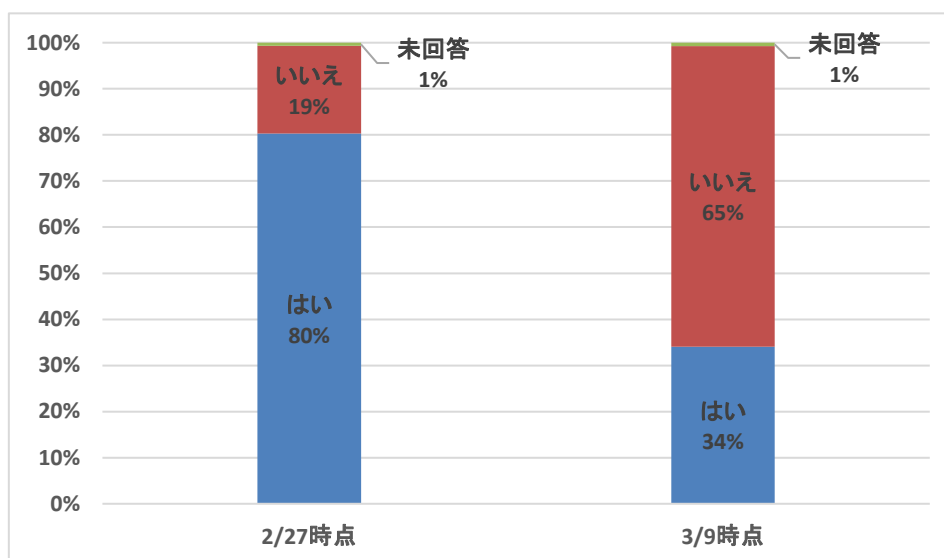
目的: 2/27 にメキシコ国内で初めて新型コロナウイルス感染症例が確認されたことを受け、前回アンケート(実施期間: 2/25~2/26)とは異なる状況下での各社の対策に関して改めて把握するため。

実施期間: 2020 年 3 月 5 日~2020 年 3 月 6 日

回答数: 141 社

<調査結果>

1. 日本からメキシコへの出張を許可していますか。



■ 「許可している」主なコメント:

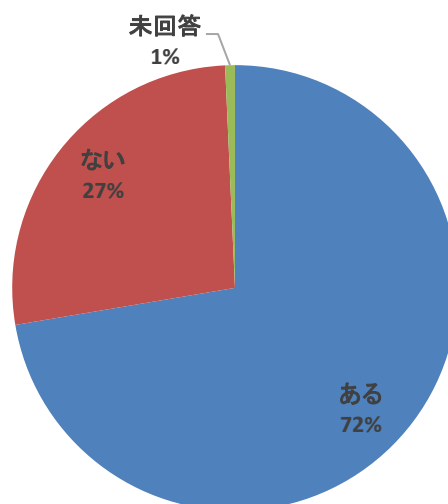
- 日本側が渡航を自粛。
- 現時点では特に規制なし。
- 許可しているが、不要不急の出張は延期または中止。喫緊の必要性がある場合はトップの判断による。
- 到着後 14 日間はホテル待機、その間は社員と接触禁止
- 但し、人数を極力絞るようにしている。メキシコに来た際にはマスク着用、検温を実施。
- 但し 3 月に計画していた出張は中止。4 月以降は別途判断。

■ 「許可していない」主なコメント:

- 日本側(本社)の通知として、日本から海外出張は禁止。
- 場所を問わず、原則 3 カ月間の出張禁止
- 3 月 22 日までは原則日本からの海外出張は禁止
- メキシコに限らず基本的に海外出張禁止、自粛中。
- 当面の海外からの訪問者受け入れを拒否している。
- 例外なしに NG

- 但し、事業継続上やむをえない場合、社長承認などにより特例で許可。
- 社内、グループ会社からの出張は禁止しているが、発注業者などの出張者は受け入れている。
- 海外(アメリカ・カナダ以外)からの訪問客は基本的に会社施設への受入不可。これは3月末までの方針であり、4月以降はまた状況を見て方針変更する可能性あり。
- アメリカ地域としてCDCレベル2以上の国からの出張者は当面受け入れない方針。

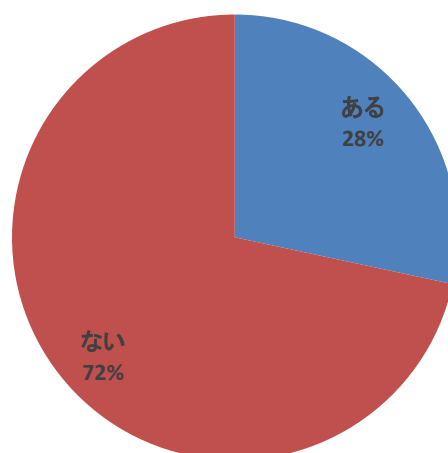
2. メキシコからの海外出張に制限がある国・地域はありますか。



■ 「ある」場合の国・地域:

- ヨーロッパ、アジア、アフリカ、中東
- 北中南米以外
- 中国(香港含む)、韓国、日本、イタリア、イラン、タイ、マカオ、インド、ベトナム、米国
- 米国政府が新型コロナウイルス関連肺炎を理由に滞在者の入国規制をしている国と地域
- 外務省情報による
- 当面海外出張禁止
- CDCレベル3:すべて延期、CDCレベル1と2: CDC推奨事項に従い。
- CDCレベル2以上の国。

3. メキシコ国内での会議、行事やイベント等開催や参加に対する制約はありますか。

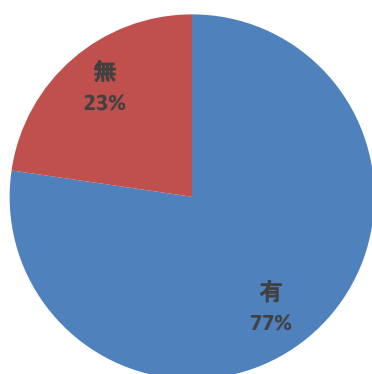


■ 「ある」場合の具体的な内容:

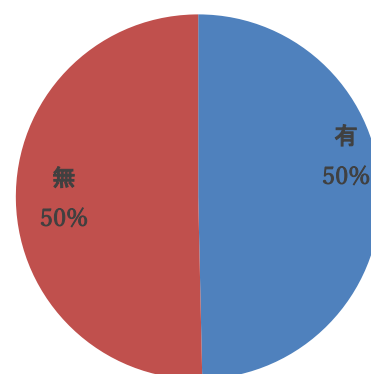
- 電話・テレビ会議推奨
- 自社での開催は基本的にしない。
- 場所を問わず、原則 3 カ月間の出張禁止。
- 大人数の集まる会議、セミナーの参加を自粛
- 業務外の会合やイベントへの参加自粛
- メキシコシティからのご訪問は現時点で遠慮頂いている。その他の地区は制限なし。
- 不要不急の行事等には参加を見合わせるように指示
- 顧客との会議以外は原則禁止
- 得意先との面談が一時的に禁止。
- 会議は出来るだけ短時間、かつ全員マスク着用、イベント、行事への参加は自粛中
- イベントの中止、日本への帰国時は本社出勤見合わせ
- 25 名以上の内部会議、100 名以上の外部のセミナー等の出席を制限。
- 50 人以上が集まる場、等

4. メキシコ事業所内での対策に関して

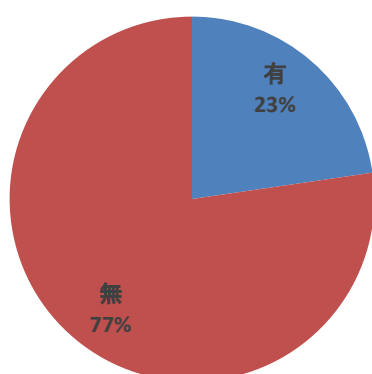
①アルコール消毒剤の有無



②マスクの有無



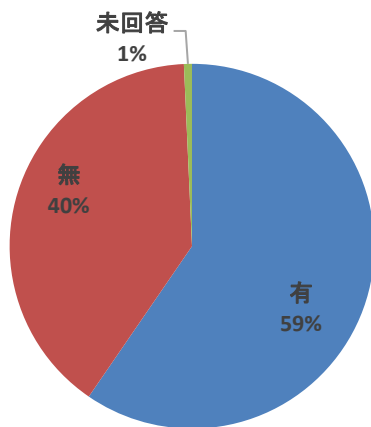
③在宅勤務の有無



■ 「有」の場合のルール:

- 自主的在宅勤務を推奨。
- 必要に応じてどうしても海外出張した場合は帰国後、1 週間ないし 2 週間在宅勤務。
- 感染者もしくは感染が疑われる人と接触が確認された際。
- 風邪の症状がある社員は在宅勤務。会社には出社しないよう指示。
- 出勤時に非接触型の体温計で計測 37.5 以上及び咳、倦怠感等有る社員は在宅勤務
- 症状が出た場合、48 時間自宅待機。陽性の場合、医療機関の指示に従う。
- 上司ならびに人事部の許可
- GTO 州内が、CDC Lv3 レベルか同等のレベルの際

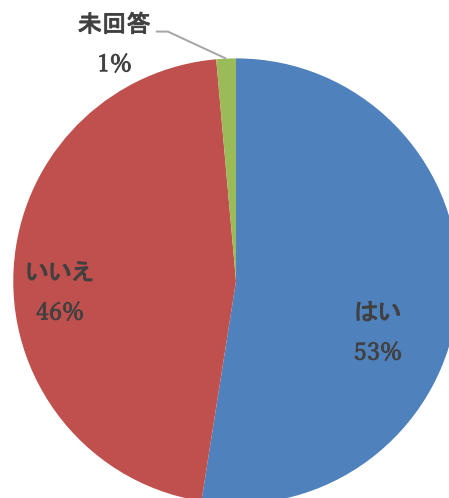
④従業員へのコロナウイルス対策訴求



■ 「有」の場合の手段:

- アルコール消毒、手洗い・うがいの徹底。
- 飛行機の使用を控える
- 日々の感染状況などの情報共有。
- 従業員入り口、掲示板、正面入り口等にアルコール消毒ジェル励行の掲示。トイレに手洗い励行の注意喚起掲示。従業員への感染防止策ルールの配信。
- 全社員へのマスク配布、体調管理の徹底
- 朝礼・電子メールでの注意喚起など
- ガイドライン提示及び予防対策図解配布
- メキシコ政府ホームページからのガイダンス
- 公共交通機関利用時には特に会社支給のマスク着用推奨
- 勤務時間の変更
- 家族、近親者で陽性診断の場合は、会社へ連絡
- 発熱の症状がある場合は、医療機関受診。
- 年休での休暇進言

5. 日本への個人的な一時帰国を許可していますか。



■ 「許可している」場合:

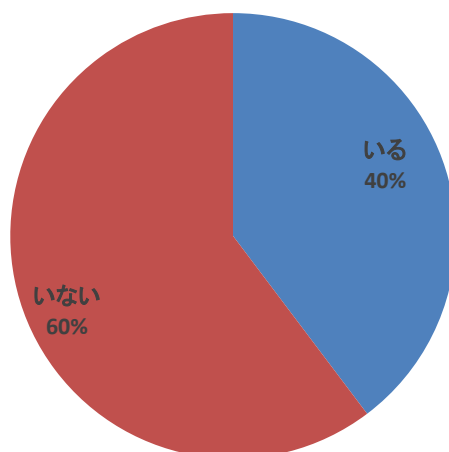
- 緊急な状況のみ(冠婚葬祭、既往症など健康上)例外として承認。
- 帰国中は本社への出勤は禁止
- 帰国時に何らかの不調があれば、自宅待機。
- 帰国時の入国拒否リスクを十分確認することが条件。
- 一時帰国は中止や延期を推奨しているものの、最終的に個人の判断を妨げるものではない。

■ 「許可していない」場合:

- 現時点では、プライベート含む日本への渡航を禁止している。
- 帰国予定者は延期させている。
- 現時点予定はないが、要望があった際は自粛要請をする。

- 日本で感染する恐れ、メキシコに戻って来られなくなる恐れがあるため。
- 現時点の帰国は、リスク有のため。

6. アメリカ CDC の定めるレベル 2 以上の規制対象国(日本、中国、韓国、イタリア、イランなど)に滞在後のメキシコ入国者に対して何等かの制限を設けていますか。



■ 「制限を設けている」場合:

- 14 日間の隔離(自宅待機、ホテル隔離)
- 14 日間の在宅勤務、朝昼晩の検温結果・体調状況の報告
- 中国滞在後のみ制限あり(自宅待機体温測定)
- 規制対象国からの訪問禁止。及び面会禁止している。
- 一週間自宅待機後 37.5℃以上の熱が無ければ出社可許可。
- 空港利用の出張に対しては、CDC Level2 に関わらず、3 日間の在宅勤務を指示。
- 来訪者の原則禁止(製造関係を除く)
- メキシコ政府のガイドラインに従った対応
- 日本以外のメンバーの入国は、NG。日本メンバーは、マスク着用と検温 LV3 になった時点で入国禁止

7. 質問/要望/風評被害など

■ 質問/要望

- メキシコでの感染状況がわかるよう日々のマッピングでの情報が欲しいです。
- メキシコ-他国の移動規制の情報などを逐一発信していただけたら幸いです。
- 過去の感染症の流行や、メキシコの医療事情などをベースにして、今後の新型コロナウイルスの感染拡大の可能性について知りたいです。
- ビジネス環境への影響を知りたいです。政府や税関の方針など。
- 状況は日々悪化しているので、毎週アンケート及びデータアップデートを希望致します。
- 医者からの情報として、既にアグアスカリエンテスでも 4 件の陽性反応者が見つかったと聞いている。どこまで本当かは定かではないが、自社でも対策を強化しなければならないと考えている。各社の在宅勤務に関するルール・規定がわかれば知りたい。
- メキシコ政府の入国規制の情報が少なく不安。定期的に発信して頂けると非常に助かります。
- メキシコの感染者情報を Camara からも提供してほしいです
- メキシコシティ国際空港等各空港や航空会社としての対策、状況を知りたいです(具体的には、検疫強化の有無、検疫内容、検査に時間を要し、乗り継ぎが間に合わない場合の対処等)

■ 風評被害

- 日本人の親子が市中の遊戯施設で遊んで居た所、「コロナ」と言われたようです。
- 日本からの専門家を連れて国内線にチェックインする際、風評被害による手続き遅延や差別発言を受ける等経験あり。
- レオンオフィス勤務者がメキシコ人から「コロナ」と笑われた(暴力的ではなくからかい)。
- 最近、空港等でアジア人に対する目が厳しい様を感じる。気のせいかもしれませんが。
- 日本人駐在員家族が街を歩いていたところ、「コロナウイルス」と罵声を投げかけられた。
- 風評被害の一部として、某社の方の帰任挨拶時に新任の方を連れて行くのは、ローカルから自粛して欲しいと言われたという話を聞いたくらい。

■ その他コメント

- 感染者が出た場合は、社内を消毒処理、社員は 14 日間、自宅にてリモートワーク待機を計画。
- 従業員が少ない為、徹底して感染防止策を実施する必要があると考えております。
- 学校では、咳をただけで帰宅を要請されました。
- 3 月までの措置であり、4 月に状況を見てまた見直しが入る予定。
- スーパー、薬局でマスク、アルコール消毒液等の在庫切れが発生中
- 工場見学の受け入れを新型コロナウイルスの影響が終息するまで見合わせております。
- 今後状況を見ながら制約等を強化している見込み
- 3/9 週早々に米州グループ会社の協議を持って社内ルールを固める予定。
- マスクを購入しようとしていますが、メキシコで購入できない。
- GTO 地域においては、企業(問屋)、個人(薬局)ともにウイルス対策商品が既に枯渇。弊社は、1ヶ月前に購入(2 週間分)。現在は、納期未定状態であり、この地域で感染が拡大した場合、2-4 週間後には、対策備品が無くなる状況です。
- 会社としての対応は、今後の動向次第で変わる可能性あり。
- 日本に個人的に一時帰国しても会社には来ないようにと言われている。コロナウイルスについては風邪の一種の意識があるが、対処法がまだないためか、日本側は非常に神経質になっている。マスクの買い占めに続き、トイレトペーパーやティッシュなど関係ないものまで無くなる。マスクをする意味も知らないで騒いでおり滑稽に感じる。
- 過度な対応を取ることで、メキシコ企業に過度なご心配を掛けることがないか危惧している。